

# ポンポコ新聞

[Ponpoko News]

第 73 号



=発行=

2020年8月23日

喜多見ポンポコ会議

<http://ponpoko.jpn.org>

## 御神木の子孫かも



ムクノキ、エノキ、ケヤキは、神社仏閣に植えられ、特にムクノキとエノキは天然記念物や御神木とされることの多い木です。

**ケヤキ** 花も実も高い場所にできるため人目に触れる事は稀です。関東近郊に多いのは、徳川幕府が植栽を推奨したからだそうです。

**エノキ** 新芽は食用になり、オオムラサキ、ゴマダラチョウ、テングチョウなどの虫に大人気で、まともに形をとどめる葉は珍しいそうです。

**ムクノキ** 実は甘味があって食用になり野鳥に人気があります。葉はケヤキと似ていますが表も裏もザラザラしており、爪を磨くことができます。

## 要注意



**トウネズミモチ** 鳥による糞の被害が急速に広がっているため「要注意外来生物」に指定されています。見つけたら抜きましょう。トウネズミモチは葉裏を透かしてみると葉脈の主脈も側脈も見えますが、ネズミモチは側脈は見えません。



**ネズミモチ** 実は漢方薬に使われ、コーヒーの代用にもなります。



**コミカンゾウ** 東洋医学や世界各地で古くから利用されています。夜は葉を閉じて眠ります



**ノブドウ** 実を野葡萄にしたり、葉や茎や実を野葡萄茶にして飲されます。



**ビワ** 実を食用にするほか、葉はビワ茶、直接患部に貼る、患部を洗うなど民間療薬として使われます。

## 薬効あり

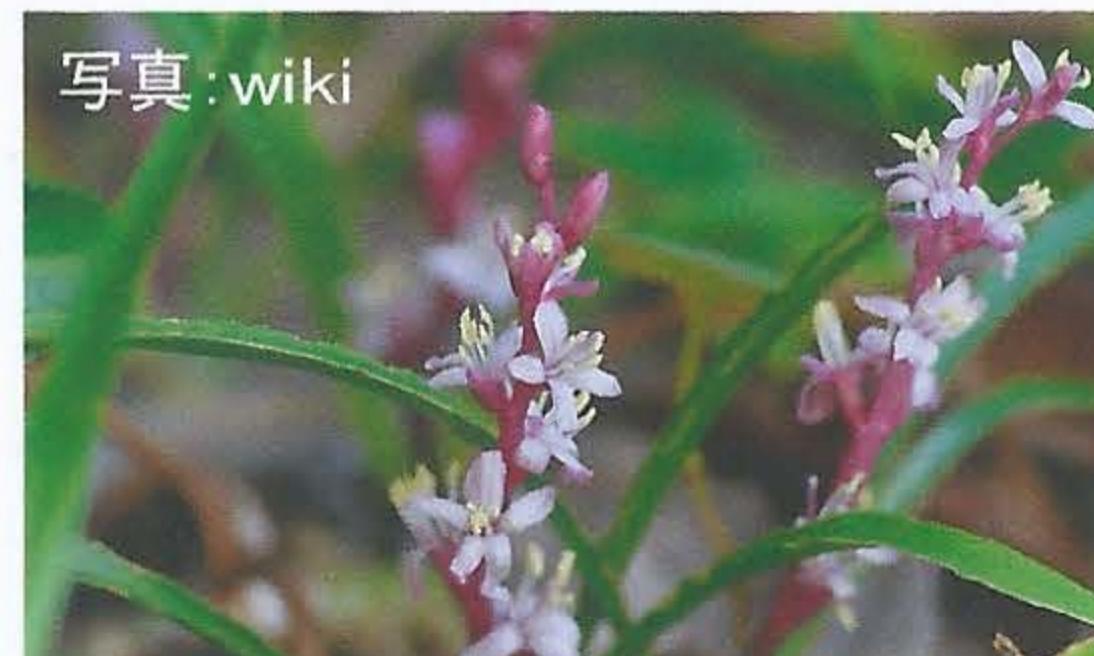
新型コロナウイルスに負けるな!  
【外出自粛関連企画】

## 自宅で「お宝」さがし



集まつた植物の現物や写真を瀬田のフ

ラワーランドに持ち込み、花とみどりの専門員・荻野哲哉さんに見ていただきました。全十九種類、ここに掲載したものはその一部です。嬉しいことにそのほとんどが日本原産や古くから日本にあるものだと分かりました。



**キチジョウソウ** 花が咲いたときに「吉事」があるという言い伝えがあり、花後も可愛らしい果実をつけます。



**マンリョウ** 同じように赤い実をつけるセンリョウより美しく価値が高いとして、江戸時代中期以降万両と称されるようになりました。

## 縁起物です

**クロガネモチ** 名前に「カネモチ」が入り「金持ち」に通じることから縁起物とされています。雌雄異株なので実を観賞するなら雌株。



## 観賞用に



**ヤマブキ** 山吹色の花が咲き、「万葉集」にも詠まれるなど古くから観賞されてきました。



**ヤマボウシ** 実は甘く生食でき、花・果実・紅葉と3回楽しむことができます。

買い物難民に朗報です

## お買い物ツアー



喜多見駅に到着

『ポンポコ新聞』第72号で「既に買い物難民が発生しているようなら予約制の乗り合いタクシーの導入を」と書きましたが、月1回「お買い物ツアー」があることを知り早速参加してみました。

主催は、喜多見まちづくりセンター、喜多見あんしんすこやかセンター、社会福祉協議会喜多見地区事務局(社協)で、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる地域社会をめざす「地域包括ケアシステム」の一環です。

### 自宅の近くからバスに乗る

事前に社協(電話070-3946-9804)へ申し込むと、参加者の住所からバスの乗降場所を決めて前日までに連絡が来ます。参加した日は、喜多見二丁目と喜多見四丁目の方だったので、10:00喜多見二丁目団地、10:15キタミクリーンファーム(筆者含)からバスに乗り、10:30頃喜多見駅に到着しました。

### 喜多見駅到着後は自由行動

参加者に人気があるのは、たぐちフーズ、業務スーパー、コルモピア、それ

に郵便局や銀行ATM、片道だけバスに乗り美容院へ行きたいという人もいるそうです。到着後は自由行動ですが、希望者にはボランティアさんが付き添い、荷物を持ってくれるので安心です。

### 地元の協力で無料開催

ワンボックス車両のバスはJA東京中央セレモニーセンターが地域貢献として提供しているもので、「お買い物ツアー」は友引の日限定で開催しています。喜多見駅ではおおしま喜多見駅前医院が提供する駐車場に停めています。こうした協力のお陰で参加費無料です。

### 帰りも自宅近くへ

帰りはバスを降りた場所に11:40集合ですが、たぐちフーズで買い物した人は甘味処わらびーで休憩させてもらい、店の前からバスに乗ることができます。12:00頃にキタミクリーンファーム到着。

### 今年度から拡大

「お買い物ツアー」は平成30年度開始、昨年度まで宇奈根と喜多見2丁目団地対象に行われ乗降場所も決まっていました。今年度から対象地域を拡大し、事前申込制で自宅近くまで行くようにしたそうです。このほか毎月第2・4土曜日に喜多見2丁目団地の5号棟と7号棟間の広場で生鮮食品やお惣菜などの「移動販売会」も開催されています。

### 今後の予定

問合070-3946-9804

#### ●お買い物ツアー

9/17(木)、10/5(月)、11/19(木)10-12時

#### ●移動販売会

9/12・26、10/10・24(土)11:00~11:45

喜多見商店街の和菓子屋さん

## 菊ヶ瀬



喜多見8-15-31、電話3415-1363、水曜休

店主の高橋克茂さんは昭和38年に中野でお店を始め、昭和42年に喜多見に移転して50年以上になります。和菓子協会の推薦で毎年11月3日には明治神宮に和菓子を献上しています。

看板商品の「栗最中」は大納言餡の中に大きな栗が入っていて素朴な味が人気です。夏のお薦めは、「麸まんじゅう」、冷凍してアイスクリーム感覚で食べる「生クリームどら焼」など。ほかに、お赤飯も美味しいとお薦めです。

店頭でお話を聞いていると中から「シンシン」と音がします。「びっくりされますよね。石臼でお餅をついているんです。お餅、大福、お団子、柔らかくてとっても美味しいですよ。添加物を使ってないから早く食べないと固くなってしまうんですけどね」。

やりがいは「地域の方が注文してくださり、美味しかったと言ってくださることです」私もさっそく家に帰り冷凍した生クリームどら焼を食べてみたところ、とっても美味しいと緑茶との相性もよく、疲れが飛んでいくようでした。

NHK「ダーウィンが来た！」

## 野川のタヌキ



成城三丁目緑地の湧水が出る吐口

6月14日(日)放送のNHK「ダーウィンが来た！」を見ているとポンポコでお世話になっている原田欣典さんが自転車に乗って登場。「用事があってここを通ったらタヌキがパッと出たんですよ」と説明しタヌキの映像が流れました。野鳥ボランティアの原田さんは野川でも定期的に野鳥観察をされていて、タヌキは親子で4~5匹いるものや、夫婦ものなどを目撃するそうです。野川はタヌキにとっても住み心地が良いようです。

### INFORMATION



### 秋の野川ガサガサ

10月3日(日)

ごみ拾い 10:00~10:30

生きもの調査 10:30~12:00

[持物] 川用の靴、あれば玉網・バケツ

[集合] 次大夫堀公園築山横の野川階段

[申込] 喜多見児童館tel.3417-9151

天候不良の場合は10月4日に延期します。新型コロナウィルス感染症の拡大状況により中止する可能性があります。冬は2月21日に行う予定です。